

道南地区初！全館空調『新システム』搭載！ 次世代型住宅 新登場！

「Comfy house」

～Whole-building air conditioning system～
コンフィハウス（快適な家）

「Comfy house」は企画住宅ではなく注文住宅。お好きなプランで建築可能。

ピット室にエアコンを設置し、全室設置の吹き出し口から温風、冷風が吹き出し、家中の温度を一定に保ちます。

ピット室にはエアコン設置だけではなく、収納としても活用できる広さがあるので無駄がありません。

また、太陽光や蓄電池の設置も可能なので電気代の大幅削減可能住宅です！

電気代が10月からまた値上がりするのでぜひこの機会に道南地区初の新システムを体感しに来ませんか？

9月27日(SAT)28日(SUN)

OPEN HOUSE

●会場：伊達市館山下町15-23
●時間：10:00～16:00



初代Comfy house 新システム検証データ

- 検証初日 外気温28℃ 室内温度30℃ 14時運転開始 エアコン設定温度25℃(冷房運転) 空調システム風量レベル4運転
 - 運転開始40分後◇キッチン・リビング・洋室②…25℃ ◇洋室①・ウォークイン・トイレ・洗面所・脱衣所…27℃ ◇ホール…26℃
 - 3日目(12時30分計測) エアコン設定温度25℃(快適AI運転) 空調システム風量レベル2運転◇リビング…21.5℃ ◇キッチン・ウォークイン…22℃◇ホール・洋室①②・脱衣所・洗面所…23℃ ◇トイレ…24℃
 - 5日目以降エアコン設定温度27℃(快適AI運転) 空調システム風量レベル1運転(微風)◇全ての室温が23℃。一定の温度に安定しました。
- ※エアコンも快適AI運転の為自動運転。風量は微風もしくは停止状態でした。建物の気密性能が高く、冷えた温度を外へ逃がさないことを実証できました。高性能、高气密の省エネ住宅をぜひ体感してください！



C値には公式な基準はないですが寒冷地では隙間風による熱損失を防ぎ、暖房効率を高め、結露を抑制するために高い気密性が求められます。

北海道で理想的なC値は一般的にC値=1.0cm³/m²以下、あるいは0.5～0.7 cm³/m²が望ましいとされています。(Google AIより引用)

気密性能が高いと自ずと省エネになり光熱費削減に繋がります。

左の画像は気密(C値)測定実施の様子



instagram



TikTok



土地情報



HP

MKKHOUSE

三井国土開発株式会社

室蘭市八丁平4丁目17番10号

0143-43-0995